



Test of Legal Proficiency

法学検定試験

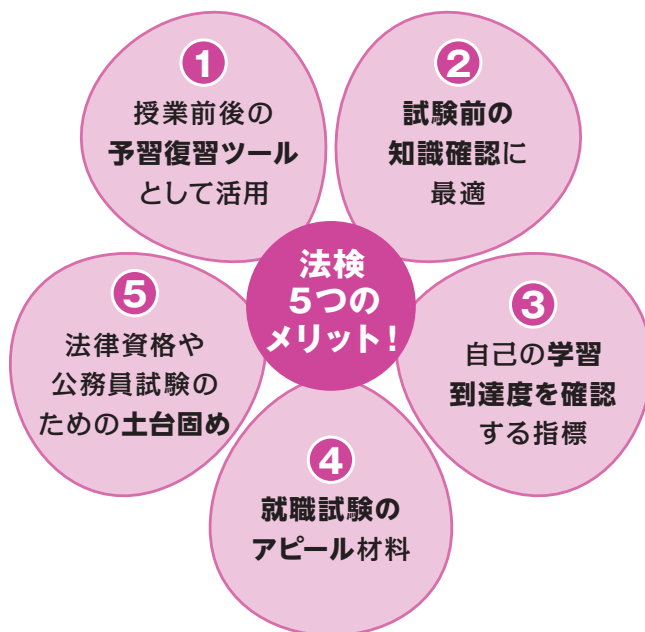
2025年受験要項

「法学を学んだ」「法学部を卒業した」と
自信をもって言えますか？

～学んだことを「合格」という証に！～
あかし

試験日：**2025年11月30日(日)**

- 出願期間：9月9日(火)～10月16日(木)
 - 願書提出締切：10月17日(金) 消印有効
 - 受験料：(税込)
 - ベーシック〈基礎〉コース……………4,400円
 - スタンダード〈中級〉コース……………6,600円
 - アドバンスト〈上級〉コース……………9,900円
 - ベーシック・スタンダードセット* ……8,800円
 - スタンダード・アドバンストセット* ……13,200円
- *セット割引は2つのコースをセットで申し込んだ場合のみ適用されます



- 試験実施に関する情報は、随時公式ウェブサイトでお知らせしますので、必ずご確認ください

法学検定試験委員会事務局

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-6-2 日本橋フロント3階
Tel: 03 (6262) 6730 受付時間 10:00～17:00 (12:00～13:00、土・日・祝日除く)
E-Mail: houken_since2000@jimu-kyoku.net

※お電話でのお問い合わせは受験者ご本人に限らせていただきます。その他のお問い合わせはメールでお願いします。

公式ウェブサイト：

<https://www.shojihomu.or.jp/hougaku/index>



: @houken_since00



法学検定試験委員会 (公益財団法人 日弁連法務研究財団 公益社団法人 商事法務研究会)

後援：株式会社 三省堂 株式会社 商事法務 株式会社 有斐閣 (五十音順)

法学検定試験の概要

「法学検定試験」とは

「法学検定試験」は、公益財団法人日弁連法務研究財団と公益社団法人商事法務研究会が共同で組織した法学検定試験委員会が実施している、法学全般に関するわが国唯一の検定試験です。

法学検定試験4級・3級を2000年から、2級を翌2001年から実施していましたが、法科大学院が定着したことを受けて、2012年から新制度で実施することとなり、現在はベーシック〈基礎〉コース・スタンダード〈中級〉コース・アドバンスト〈上級〉コースの3つのコースを実施しています。これらの試験は、法学に関する学力を客観的に評価するわが国唯一の試験として、大学での単位認定、企業の入社・配属時の参考資料等、さまざまな場面で利用されています。

法学検定試験委員会とその組織

公益財団法人日弁連法務研究財団と公益社団法人商事法務研究会は、法学検定試験を共同で実施するため、その企画・実施の機関として法学検定試験委員会を設置し、その事務局を公益社団法人商事法務研究会内に置いています。

主催団体

■公益財団法人 日弁連法務研究財団（1998年設立）

日本弁護士連合会が中心となって設立された公益財団法人で、一段と複雑・多様化、高度化、国際化しつつある法律問題に対応すべく、弁護士、公認会計士、税理士、弁理士、司法書士から企業の法務担当者までの広範な会員をもって構成され、適性試験事業・認証評価事業等法科大学院関連事業、法律実務の研修、法および司法制度の研究、法情報の収集と提供を通じて社会の発展に貢献することを目的としています。

■公益社団法人 商事法務研究会（1955年設立）

経済活動に係る法制度に関する調査研究を行うとともに、社会への法律知識の普及・啓発活動を行うことにより、公正かつ自由な経済活動の機会の確保・促進、その活性化による国民生活の安定向上に寄与し、経済の健全な発展に貢献することを目的とし、主に、民商事法・司法制度・環境法制・消費者法制・法教育等に関する調査研究、および法学検定試験の実施等を行っている公益社団法人です。

法学検定試験委員会

◎委員長	高橋宏志	公益財団法人日弁連法務研究財団名誉会長・東京大学名誉教授
○副委員長	神田秀樹	公益社団法人商事法務研究会代表理事会長・東京大学名誉教授
委員	井田良	中央大学教授
(五十音順)	小幡純子	日本大学教授
	北村雅史	関西大学教授
	初宿正典	京都大学名誉教授
	中田裕康	東京大学名誉教授・一橋大学名誉教授
	三井誠	神戸大学名誉教授
	安永正昭	神戸大学名誉教授
☆顧問	新堂幸司	公益財団法人日弁連法務研究財団名誉会長・東京大学名誉教授

（2025年4月現在）

法学検定試験5つの特徴

1. 法学全般に関するわが国唯一の検定試験

全国規模で実施され、毎年、法学部在学・出身か否かを問わず、多くの学生や社会人等がチャレンジしています。

2. 学習レベルにあった法的知識・能力が身につく(ベーシック〈基礎〉コース・スタンダード〈中級〉コース)

法学検定試験ベーシック〈基礎〉コース・スタンダード〈中級〉コースは、各科目の重要論点を網羅的にとりあげている当年度の『法学検定試験問題集』(商事法務刊)から試験問題の6~7割程度が出題されます(問題集の問題そのものが出題されるとは限りません)。問題集に沿って学習することにより、無理なく各科目全般に関する知識・能力を身につけられ、実際に試験で学習の成果を測ることができます。

3. レベル・進路にあわせコースを選択できる

ベーシック〈基礎〉コース(法学の初学者がまずはおさえておくべき基礎的なレベル)は、「法学入門」「憲法」「民法」「刑法」といった基本法についての基礎的知識・能力を測る試験ですので、日常の学習のまとめや目安として活用できます。

スタンダード〈中級〉コース(法学を学習する者が到達すべき必須レベル)は、「法学一般」「憲法」「民法」「刑法」の必須科目に加えて、将来の進路や学習の度合い等に応じて5科目(民事訴訟法、刑事訴訟法、商法、行政法、および憲法・民法・刑法をその内容とする基本法総合)から1科目を選択でき、基本的な条文の解釈や重要判例の理解度を測れます。各種資格試験や採用試験の腕試しとして、さらには法律学の知識・能力の到達度測定手段として利用できます。

アドバンスト〈上級〉コース(法学を専門的に学ぶ者が目指すべき上級レベル)は、スタンダード〈中級〉コースと同様の選択科目(基本法総合を除く)のほか、やや発展的な科目(労働法、破産法、経済法、知的財産法)を加えた中からもう1科目の選択を要求しています。将来法曹を目指すためのステップとして、また企業や官公署等において法律実務を担当しうだけの一定水準以上の体系的な法学の実力を証明する試験として利用され、高度なレベルとなっています。

4. 就職・採用試験の場で威力を発揮

大学受験時の偏差値ではなく、大学で何を学んだかを客観的に証明するツールとして、各企業や団体等の就職・採用試験の場で威力を発揮します。

5. 法学界最高水準の陣容でバックアップ

法学検定試験委員会は、法学の各専門分野においてわが国を代表する研究者によって組織されています。また各分野の第一線で活躍する研究者によって練られた問題を水準に応じて出題しています(出題委員は非公表)。さらに本検定試験には、全国の法学研究者がその趣意にご賛同くださり、さまざまなご意見・ご指導・ご協力を得ています。

法学検定の実施状況(2024年実施分)

●ベーシック〈基礎〉コースの志願者数・実受験者数・合格者数・合格率一覧

志願者数	受験者数	平均点(60点満点)	合格点(ex)*	合格者数(ex)*	合格率
3,977名	3,532名	34.3点	30点(48点)以上	2,279名(426名)	64.5%

●スタンダード〈中級〉コースの志願者数・実受験者数・合格者数・合格率一覧

志願者数	受験者数	平均点(75点満点)	合格点(ex)*	合格者数(ex)*	合格率
1,840名	1,571名	45.6点	45点(61点)以上	864名(183名)	55.0%

●アドバンスト〈上級〉コースの志願者数・実受験者数・合格者数・合格率一覧

志願者数	受験者数	平均点(55点満点)	合格点(ex)*	合格者数(ex)*	合格率
449名	371名	32.0点	38点(43点)以上	109名(42名)	29.4%

*exはexcellent合格を示す

法学検定試験各コース実施要項

受験資格

「法学検定試験」は、どなたでも受験することができます。受験資格は一切問いません。
ベーシック〈基礎〉コースとスタンダード〈中級〉コース、スタンダード〈中級〉コースとアドバンスト〈上級〉コースは併願することができます。併願する場合は、セットで申込みをした場合にのみ受験料の割引があります。

試験科目・試験時間

●ベーシック〈基礎〉コース（4科目・合計60問〔法学入門10問／民法20問／その他各15問〕）

試験科目	解答時間	集合時刻	試験時間
法学入門 憲法 民法 刑法	120分	9:40	10:00～12:00

●スタンダード〈中級〉コース（5科目・合計75問〔法学一般10問／民法20問／その他各15問〕）

必須科目	※選択科目	解答時間	集合時刻	試験時間
法学一般 憲法 民法 刑法	「選択科目A群*1および基本法総合*3」から1科目選択	150分	13:40	14:00～16:30

●アドバンスト〈上級〉コース（6科目・合計55問〔法学基礎論10問中5問選択／その他各10問〕）

必須科目	※選択科目	解答時間	集合時刻	試験時間
法学基礎論 憲法 民法 刑法	「選択科目A群*1」から1科目、「A群およびB群*2」からもう1科目選択	150分	9:40	10:00～12:30

※選択科目は試験当日に選択。選択科目の詳細は、本要項6頁～7頁参照。

*1 選択科目A群 ①民事訴訟法 ②刑事訴訟法 ③商法 ④行政法

*2 選択科目B群 ⑤労働法 ⑥破産法 ⑦経済法 ⑧知的財産法

*3 基本法総合 憲法・民法・刑法から必須科目とは異なる問題を出題

試験開始20分前から試験に関する説明を行いますので、上記の集合時刻までに指定された座席に必ず着席してください（遅刻厳禁）。なお、試験開始時刻に指定された座席に着席していない場合、受験をお断りします。

法令基準日・出題形式・解答方式

出題は、原則として2024年10月1日現在施行されている法律およびそれまでに与えられた判例を基準とします。出題形式は多肢択一形式、解答方式はマークシート方式です。出題範囲やレベル等の詳細については、本要項6頁～7頁のほか、各コースの『問題集』『過去問集』および公式ウェブサイトをご覧ください。

試験会場

〈一般会場〉

札幌市、仙台市、東京都（A地区・B地区）、愛知県、京都市、大阪府、岡山市、愛媛県、福岡市、沖縄県の全国11地区で実施します（東京A地区：23区および23区に隣接する市、B地区：東京西部）。出願時に希望地区を選択してください。なお、具体的な試験会場は受験者個別に受験票にて通知します。指定された受験地区・試験会場の変更はできません（複数の会場で実施する地区〔東京A地区等〕がありますが、出願時に希望会場を指定することはできません）。

※試験当日の会場詳細については「受験票」でお知らせします。受験票発送前にお電話によるお問い合わせをいただいてもお答えできません。また、前年の会場をお知らせすることもできませんのでご了承ください。

〈団体会場〉

各団体等と法学検定試験委員会が協議のうえ指定した会場で実施します。2025年度「一般受験者受入団体会場」はありません。

*試験が実施されなかった場合の措置

天災（地震・台風）等により法学検定試験委員会が試験の中止を判断した場合は、受験者には受験料全額の返金をいたします。ただし、試験が実施されなかったことにともなう受験者の不便、費用、その他の個人的損害については法学検定試験委員会およびこれを組織する団体は一切の責任を負いません。

正解の公表

正解は、試験日の翌日17時までに、公式ウェブサイト上で公表します。

合否判定

合否判定は、法学検定試験委員会が設置する「合否判定委員会」が試験結果を分析したうえで定める合格最低点を基準として行います。ただし、受験科目中0点の科目がある受験者は、総合得点にかかわらず不合格とします。

excellent合格制度

合格者の中でも特に優秀な成績を修められた方の栄誉を讃える制度です。合格証書にその旨明記されますので、履歴書等にお書きいただけます。なお、excellent合格の基準は都度「合否判定委員会」で決定します。

成績通知書の送付

受験者全員に各科目の得点、平均点、偏差値および総合順位を記載した「成績通知書」、合格者には「合格証書」をお送りします。

試験後に住所変更があった場合には、郵便物の転送手続きを行ってください。「合格証書」の再発行はいたしませんので大切に保管してください。

得点分布・平均点等の統計資料および試験問題の講評は、2026年1月5日頃、公式ウェブサイトで公表します。なお、試験結果に関する個別の照会には一切応じられません。

【合格証書見本】



オープンバッジ*の発行

対象となる合格者のうち、希望される方にはデジタル証明書を発行しています。ベーシック〈基礎〉コース、スタンダード〈中級〉コース、アドバンスト〈上級〉コースのexcellent合格者には各コースのexcellentバッジを、また、スタンダード〈中級〉コース、アドバンスト〈上級〉コースの通常合格者には各コースの合格バッジを発行します。

*世界的な技術標準規格「IMS Global Learning Consortium」に準拠し発行されるデジタル証明・認証



※バッジの発行手続については試験後に該当者にご案内いたします。メールアドレスの登録が必要となります。

※バッジのデザインは変更になることがあります。

コース別各科目の出題範囲・内容・受験者のめやす

Level 1

★ベーシック〈基礎〉コース……法学の初学者がまずはおさえておくべき基礎的なレベル

法学入門	大学で法律学を学び始めた者が、最低限知っておくべき基礎知識を問う。
憲 法	日本国憲法の条文、その通説的な見解、関連する基本判例の趣旨の理解など、憲法の学習にとって必要な基礎知識を問う。
民 法	総則と債権法に相対的な重きを置きつつ、物権法（担保物権法は含まない）も含めて、基本的な制度について条文と通説の正確な理解度を問う。家族法や民法典に密接に関連する借地借家法等の特別法に関する初歩的な基礎知識を問う問題も含まれる。
刑 法	刑法総論の基礎知識を中心に、刑法各論に関しては特に重要な犯罪類型にかかわる基本的事項を問う。

Level 2

★★スタンダード〈中級〉コース……法学を学習する者が到達すべき必須レベル

法学一般	大学で法律学をある程度学んだ者として、知っておくべき基礎知識を問う。
憲 法	憲法の基礎知識があることを前提にして、憲法上の主要論点にかかわる学説・判例のより深められた理解力、推論して考える力を問う。
民 法	民法典全分野における基本的な法制度について、判例を含めて、簡単な事例問題も用いて、正確に理解しているか否かを問う。密接に関連する制度の相互関係を問う問題や特別法（一般法人法、借地借家法、等）に関する基礎的な問題も含み、担保物権法については初歩的な基礎知識を問う問題に限る。
刑 法	刑法全般に関する主要なテーマについて、判例・学説の基本的な理解力を問う。総論についてはすべてにわたるが、各論については個人的法益に対する罪（特に財産犯）を中心とし、社会的法益・国家的法益に対する罪からは基本的問題を出題する。

+選択科目1科目

(民事訴訟法・刑事訴訟法・商法・行政法・基本法総合から1科目選択)



民事訴訟法	総論、裁判所、当事者・代理人、訴えの種類・対象、訴え提起の手続・訴訟の進行、口頭弁論から判決に至る一連の民事訴訟手続に関する全体的な制度の基本的な仕組みと初歩的な法的知識・理解力を問う。多数当事者訴訟、上訴・再審等については、とりあげない。
刑事訴訟法	犯罪の捜査、公訴の提起、公判手続、証拠法、裁判、上訴という刑事手続の流れに沿い、刑事手続の基本原則、制度の基本的な仕組みと初歩的な法解釈上の論点に関する知識・理解力を問う。
商 法	会社法に関する基本的な法制度と若干の実務的な内容を中心に、商法総則、商行為法総則の初歩的な内容も範囲とする。企業に関する私法規制の基礎知識と単純な事例を通しての法的理解力を問う。
行政 法	広義の行政法総論が主たる出題範囲である。狭義の行政法総論のほか、国家補償法や行政訴訟法についての基礎知識を問う。行政法各論特有の問題は基本的には出題しないが、総論との関係で必要な事項は学習しておくことが望ましい。
基本法総合 (憲民刑複合)	基本的には、スタンダード〈中級〉コースの憲法・民法・刑法の出題範囲・内容と同様である。しかし、やや難易度の高い問題や他の法分野との境界領域の問題も出題範囲とするので、憲法・民法・刑法のより深い理解が求められる。

Level 3

★★★アドバンスト〈上級〉コース……法学を専門的に学ぶ者が目指すべき上級レベル

法学基礎論	法哲学、法社会学、比較法、日本法制史、司法制度論、法的思考の基礎から出題する。上級者としては、実定法の知識だけではなく法規範の成り立ちや解釈の基礎についても学習をし、理解を深めてほしい。
憲 法	学説については、各説の論拠とその当否を論じ自説を展開できるか、判例については、争点および判決要旨に加え、事案の内容・判決の理論構成・有力な反対意見・学説の論評等を理解しているか、比較憲法については、概括的であれ主要国の憲法史・憲法理論・憲法運用の実際を理解しているかなどが問われる。
民 法	担保物権法、親族法・相続法を含む民法典全分野、および、特別法（一般法人法、借地借家法、消費者契約法、利息制限法、製造物責任法、区分所有法、動産・債権譲渡特例法）についても理論上・実務上重要なものは出題範囲に含める。
刑 法	刑法典全般に及び、刑法総論については判例・学説の基本的知識および応用力を問う。刑法各論についてはすべての犯罪類型について正確な知識を要求する。

＋選択科目2科目

(A群から1科目、A群およびB群の中からもう1科目の合計2科目選択)



【A群】

民事訴訟法	複雑訴訟、多数当事者訴訟、上訴・再審、特別手続も範囲とし、裁判所法、人事訴訟法、仲裁法、民事調停法、非訟事件手続法等を含む。
刑事訴訟法	刑事訴訟手続の全分野を対象とし、刑事訴訟法・刑事訴訟規則に加え標準的な教科書で扱われる憲法についても出題範囲に含む。標準的な教科書で扱うレベルの学説・理論および基本判例の理解や、基礎的知識を具体的設例等に応用する能力を問う。
商 法	会社法、商法総則、商行為法、手形・小切手法の分野から、重要な条文・判例について、制度の趣旨を踏まえて理解しているかを問う。
行 政 法	広義の行政法総論（国家補償法、および行政争訟法からなる行政救済法分野をも含む）が主な出題範囲となる。また、行政組織法分野の重要問題について出題することがある。スタンダード〈中級〉コース問題集の解説を踏まえた、より応用的・発展的な知識と理解力を問う。

【B群】

労 働 法	労働基準法、労働組合法、労働契約法などの基本的な法律を中心に、これらに関連する育児・介護休業法、労働契約承継法等についても、最低限の内容を把握していることを前提とする。また労働法は特に判例が重要であり、労働契約や労使関係、労災などにかかる中心的な判例法理の理解も前提となる。
破 産 法	破産法全般について基本的な理解が得られているかを問う。
経 済 法	独占禁止法を中心とし、関連法令を含む。民法・刑法その他の法分野でも、独占禁止法の法目的と同様に競争政策を実現する手段として登場する範囲で出題範囲に含める。
知的財産法	特許法と著作権法から各4問、知的財産法の基本的な事項から2問出題する。知的財産法についての基本的な理解を問う。

出願・申込方法

申込方法・受付期間一覧

※受付期間・締切は、申込方法により異なりますのでご注意ください。

出願方法	会場	申込方法	受験料支払方法	受付期間	締切
個人申込	一般	願書郵送	取扱書店もしくは 銀行振込	9月9日(火)～10月16日(木) 〈書店受付〉	10月17日(金)消印有効
		ウェブサイト	コンビニ決済 もしくはカード決済	9月9日(火)～10月20日(月)	コンビニ決済：10月16日(木) カード決済：10月20日(月)
		コンビニ 店頭設置機械*	各コンビニ店頭	9月9日(火)～10月20日(月)	10月20日(月)
グループ 申込		申込責任者 による一括郵送	銀行振込	申込責任者にお問い合わせください	
団体申込	団体	受験者：各団体にお問い合わせください 申込責任者：ウェブサイトをご覧ください		各団体にお問い合わせください (個人申込とは受付期間・締切が異なることがあります)	

*セブンイレブン・ファミリーマート…「マルチコピー」 ローソン…「Loppi」 ミニストップ…「MINISTOP Loppi」

出願方法

出願の方法には、「個人申込」「グループ申込」「団体申込」の3種類があります。グループ申込、団体申込の方は申込責任者にご確認ください。申込責任者の方は公式ウェブサイトをご覧ください。

個人申込

受験者個人で受験申込手続きをし、出願する方法です(詳細は次頁「出願から成績通知までのフロー」でご確認ください)。

原則として、全国11地区に設置する「一般会場」での受験となります(受験者は受験地区を選択)。

2025年度は「一般受験者受入団体会場」での受験はありません。

グループ申込(10名以上)・・・ゼミ・サークル・仲間同士で！

グループで受験する場合、「申込責任者(受験者でも可)」を通して受験申込手続きをし、当該申込責任者が「法学検定試験委員会事務局」に一括して出願する方法です。グループ受験申込書の入手等の詳細については、公式ウェブサイトをご覧ください。

全国11地区に設置する「一般会場」での受験となります(申込責任者が受験地区を選択)。

受験者個別に試験結果をお送りするほか、「申込責任者」宛にグループ成績・グループ受験者の成績一覧をお送りします(受験者の個人成績については各受験者による事前の承諾が必要となります)。

各コース10名以上のグループのうち、合格者上位5名の平均点が最も高かったグループを表彰します。

◎グループ受験割引について

グループ割引制度があります。詳しくは公式ウェブサイトをご覧ください、ゼミ・サークルでの学習目標の設定・確認、企業内の法務研修等に是非ご活用ください。

団体申込(20名以上)・・・大学・企業単位で！

大学や企業・団体等の「申込責任者」を通して受験申込手続きをし、当該申込責任者が「法学検定試験委員会事務局」に一括して出願する方法です。団体受験申込書の入手等の詳細については、公式ウェブサイトをご覧ください。

原則として、当該団体と法学検定試験委員会が協議のうえ指定する「団体会場」での受験となります。多くの場合、団体受験の申込みをした「大学」が会場(自校実施)となります。

受験者個別に試験結果をお送りするほか、「申込責任者」宛に団体成績・団体受験者の成績一覧をお送りします(受験者の個人成績については各受験者による事前の承諾が必要となります)。

各コースの合格者数・合格率それぞれ第3位までの団体(当該コース20名以上受験が条件)を表彰します。大学としての取組みの広報にもお役立っていただけます。

◎団体受験割引について

団体申込にはお得な割引特典があります。条件によって割引率が異なりますので、事務局までお問い合わせください。

出願から成績通知までのフロー（個人申込の場合）

※団体申込等、他の出願方法における日程については必ず申込責任者にご確認ください。

出願書類配布開始 2025年9月～	■出願書類（願書・専用封筒）の入手方法 ①大学生協購買部・主要書店（取扱書店等）からの入手 …取扱書店等で無料配布します。 ②ウェブサイトでの出願書類の請求 …公式ウェブサイトから出願書類の請求ができます。		
出願受付開始 2025年9月9日（火） 出願受付終了 【郵送申込締切】 2025年10月16日（木） （10月17日（金）〔消印有効〕） 【ウェブサイト、コンビニ申込締切】 2025年10月20日（月） ※ウェブ申込+コンビニ決済の場合は 10月16日（木）	■申込みの方法 【郵送での申込み】 ①受験料を取扱書店等へ支払う場合 取扱書店等で受験料を支払い、取扱書店等発行の「書店払込証書」と「願書」を「専用封筒」に入れて、法学検定試験委員会事務局へ郵送してください。 ②受験料を指定口座へ振り込む場合 下記の銀行口座に受験料を振込み（ATM可・インターネットバンキング不可）、振込金額と振込人氏名が明記されている利用明細、振込証明書等の「振込み証明書類」と「願書」を「専用封筒」に入れて、法学検定試験委員会事務局へ郵送してください。 <table border="1" data-bbox="463 681 1197 768"> <tr> <td>受験料振込先</td><td>みずほ銀行 銀座支店（普通）2275905 口座名 法学検定試験委員会事務局</td></tr> </table> 【ウェブサイト、コンビニ（店頭設置機械）からの申込み】 受付期間中は、公式ウェブサイトの出願専用ページ（QRコードから直接アクセスできます）または全国のコンビニ（店頭設置機械）から直接、受験の申込みができます（締切日にご注意ください。ウェブサイトから申し込まれた場合、支払方法で締切日が異なります）。 ウェブサイト、コンビニ（店頭設置機械）から直接、受験を申し込まれた場合は、 <u>願書の郵送は不要です。</u>	受験料振込先	みずほ銀行 銀座支店（普通）2275905 口座名 法学検定試験委員会事務局
受験料振込先	みずほ銀行 銀座支店（普通）2275905 口座名 法学検定試験委員会事務局		
受験票の発送 2025年11月13日（木）頃	■受験票の到着・写真の貼付 受験票は願書に記載された住所宛に、直接受験者に発送します（併願の場合は、コースごとに1通ずつ）。試験日より <u>6日前までに受験票が到着しない場合</u> には事務局までご連絡ください。 受験票には写真貼付欄（1ヵ所）がありますので、写真を貼付してください。写真の大きさは縦4cm×横3cmで6ヵ月以内に写した無背景、上半身脱帽、正面の証明写真に限りです。写真のコピー、家庭用プリンターで普通紙に印刷したもの、プリクラ、サングラス着用、集合写真は認められず、成績通知書を発行いたしません。試験当日に写真票は回収いたします。 受験票に記載されている内容に訂正・変更がある場合には、試験当日に会場で手続が必要です。当日会場受付でお申し出ください。		
試験当日 2025年11月30日（日）	■試験当日の持ちもの 受験票（写真貼付欄〔1ヵ所〕に写真貼付のこと）、筆記用具（HB・Bの黒鉛筆、消しゴム）、腕時計（腕時計に準じるサイズの置き時計〔10cm×10cm以内〕は使用可）		
試験結果発送 2026年1月5日（月）頃	■試験結果の発送 試験結果は、願書に記載された住所宛に発送します（願書に記載された住所と現住所が異なる場合は、必ず郵便局に転送届をお出しください）。		

- * 郵送による申込みの際、願書等は消印有効日までに必ず投函してください。消印有効日以降の消印のものは受理できません。
- * 受験料を取扱書店や銀行に支払いまたは振り込まれても、願書等が試験委員会事務局まで到着せず、正式に受理されない場合（願書の郵送忘れ等）、申込みは無効となります。この場合、受験料の返金は当委員会の定める基準で行います。次回の受験へ振り替えることはできません。
- * 出願後は、受験料の返却または次回受験への振替は認められません。

願書の記入要領

※願書は黒のボールペン・万年筆等を用い、楷書ではっきりと丁寧に記入してください。

※願書の記入間違いが多くなっています。提出前に必ずご確認をお願いします。

出願に際しての注意事項

- 公式ウェブサイト、コンビニ店頭設置機械から直接受験を申し込まれた場合は、願書の郵送は不要です。
- 願書等に不備がある場合は、申込みを受理できないことがありますので十分注意してください。
- 受験料を払い込まずに願書を郵送された場合は受理できません。
- 受験料を払い込んでいる場合でも、願書等が郵送されていない場合、受験することはできません。
- いかなる場合も、出願後の受験コースの変更、受験地の変更はできません。

【記入例】 記入要領については、願書裏面でご確認ください。

願書提出は 2025年10月17日(金) 当日消印有効		願 書		整理番号										
2025. 11 「法学検定試験」														
太枠内を記入のこと（記入要領については裏面を参照）														
※ ベーシック(基礎)コースとスタンダード(中級)コース スタンダード(中級)コースとアドバンスト(上級)コース } は併願が可能です。														
①氏名をカタカナで記入		②受験地		●各項目はコンピュータに入力しますので楷書ではっきりと丁寧に記入してください。										
氏 名 ホウカク タロウ		地区名 東京A												
漢字氏名 法学 太郎		番号 03												
③生年月日(西暦) 20040501		*下記、E-Mail・電話は出願書類等に不備があった場合にご連絡をさせていただきますので、必ずご記入ください。												
④住 所 〒103-0027 東京都中央区日本橋3-6-2		E-Mail houken_since2000@jimu-kyoku.net 電話 03-6262-6730												
都道府県名・市町村名・番地・アパート名・部屋番号まで必ず記入すること														
日本橋フロント3階														
⑤職業番号		学校名コード	学校名											
5 1 3 0 0 0		0△大学	1 3											
⑥受験するコースまたはセットを選択し、番号を○で囲んでください。														
<table border="1"> <tr><td>1</td><td>ベーシック(基礎)コース</td></tr> <tr><td>2</td><td>スタンダード(中級)コース</td></tr> <tr><td>3</td><td>アドバンスト(上級)コース</td></tr> <tr><td>4</td><td>ベーシック・スタンダードセット</td></tr> <tr><td>5</td><td>スタンダード・アドバンストセット</td></tr> </table>					1	ベーシック(基礎)コース	2	スタンダード(中級)コース	3	アドバンスト(上級)コース	4	ベーシック・スタンダードセット	5	スタンダード・アドバンストセット
1	ベーシック(基礎)コース													
2	スタンダード(中級)コース													
3	アドバンスト(上級)コース													
4	ベーシック・スタンダードセット													
5	スタンダード・アドバンストセット													
※下記は、該当する方のみご記入ください。														
⑦受験方法(該当する方を○で囲む)														
<table border="1"> <tr> <td>☒ 団体受験</td> <td>☐ グループ受験</td> </tr> </table>					☒ 団体受験	☐ グループ受験								
☒ 団体受験	☐ グループ受験													
⑧団体名・グループ名														
○△大学														
団体・グループ責任者への個人成績の通知を承諾します。														
署名 法学 太郎														
⑨身障者等受験特別措置を希望して申請書を添付している場合は右欄にチェック(☑)をしてください。														
<table border="1"> <tr> <td>申請書はウェブサイトからダウンロード・印刷してください。</td> <td>取扱書店印(番線印)</td> </tr> </table>					申請書はウェブサイトからダウンロード・印刷してください。	取扱書店印(番線印)								
申請書はウェブサイトからダウンロード・印刷してください。	取扱書店印(番線印)													

②受験地

願書裏面から希望の受験地区番号を選び、地区名と番号をあわせて記入してください(願書郵送後、指定した受験地区の変更はできません)。東京地区は、A地区(23区および23区に隣接する市)とB地区(東京西部)を設定していますが、ご希望の地区が指定されるとは限りません(Aを選択されてもB地区となることもあります)。

⑤職業、学校、専攻ならびに学年番号については願書裏面を、学校名コードについては本要項11頁をご参照ください。

⑥コースまたはセット選択

スタンダード(中級)コースとアドバンスト(上級)コースの選択科目は試験当日に選択していただきます。

⑦⑧団体もしくはグループで出願される方のみご記入ください。(詳細は本要項8頁参照)

⑨身障者等受験特別措置を希望して申請書を添付している場合
身障者等受験特別措置を希望し、申請書の添付がある場合のみチェック欄にチェックマーク(☑)を入れてください。

*身障者等受験特別措置を希望する場合

公式ウェブサイトの「身障者等受験特別措置実施概要」をよく読み、「身障者等受験特別措置申請書」等必要書類一式を願書とともに事務局までお送りください。申込み方法により提出方法や提出期限に違いがありますので、お間違えのないようご注意ください。なお、「概要」や「申請書」は公式ウェブサイトからダウンロードできます。

※出願後に負傷等され、特別措置が急遽必要になった場合は、すみやかに事務局にご連絡ください。

学校名コード一覧(国立大学・公立大学、私立大学別)

【五十音順】※該当する学校が一覧にない場合は「3000」を記入してください。

国立大学	コード	公立大学	コード	国立大学	2118	南山大学	2404
茨城大学	1008	大阪公立大学*1	1005	駒澤大学	2119	二松学舎大学	2405
岩手大学	1001	北九州市立大学	1104	作新学院大学	2201	日本大学	2406
愛媛大学	1002	高知県立大学	1110	札幌大学	2202	日本文化大学	2407
大分大学	1003	東京都立大学*2	1205	札幌学院大学	2203	ノースアジア大学*4	2408
大阪大学	1004	私立大学	コード	志學館大学	2204	白鷗大学	2501
岡山大学	1006	愛知大学	2001	四天王寺大学	2215	阪南大学	2512
小樽商科大学	1007	愛知学院大学	2002	城西大学	2205	姫路獨協大学	2502
香川大学	1101	青森中央学院大学	2003	上智大学	2206	広島修道大学	2503
鹿児島大学	1102	青山学院大学	2004	駿河台大学	2207	福岡大学	2504
金沢大学	1103	朝日大学	2005	成蹊大学	2208	福山平成大学	2505
九州大学	1105	麻布大学	2006	成城大学	2209	富士大学	2506
京都大学	1106	亜細亜大学	2007	西南学院大学	2210	平成国際大学	2507
熊本大学	1107	追手門学院大学	2015	清和大学	2211	法政大学	2508
高知大学	1109	大阪学院大学	2008	摂南大学	2212	放送大学	2509
神戸大学	1108	大阪経済大学	2009	専修大学	2213	北陸大学	2510
埼玉大学	1201	大阪経済法科大学	2010	創価大学	2214	北海学園大学	2511
佐賀大学	1202	大阪国際大学	2011	大東文化大学	2301	北海商科大学	2513
静岡大学	1203	岡山商科大学	2012	高岡法科大学	2302	松山大学	2601
島根大学	1204	沖縄大学	2013	拓殖大学	2303	宮崎産業経営大学	2602
信州大学	1206	沖縄国際大学	2014	中央大学	2304	明海大学	2603
千葉大学	1301	学習院大学	2101	中央学院大学	2305	明治大学	2604
筑波大学	1302	神奈川大学	2102	中京大学	2306	明治学院大学	2605
東京大学	1303	関西大学	2103	帝京大学	2307	名城大学	2606
東京学芸大学	1306	関西学院大学	2104	帝塚山大学	2308	桃山学院大学	2607
東北大学	1304	関東学院大学	2105	東亜大学	2309	武蔵大学	2608
鳥取大学	1307	関東学園大学	2106	桐蔭横浜大学	2310	武蔵野大学	2609
富山大学	1305	九州国際大学	2107	東海大学	2311	山梨学院大学	2701
名古屋大学	1401	京都学園大学	2108	東京経済大学	2312	四日市大学	2702
新潟大学	1402	京都産業大学	2109	同志社大学	2313	立教大学	2801
一橋大学	1501	京都女子大学	2110	同志社女子大学	2317	立正大学	2802
弘前大学	1502	杏林大学	2111	東北学院大学	2314	立命館大学	2803
広島大学	1503	近畿大学	2112	東洋大学	2315	龍谷大学	2804
福島大学	1504	久留米大学	2113	常葉大学	2318	流通経済大学	2805
北海道大学	1505	慶應義塾大学	2114	獨協大学	2316	早稲田大学	2901
三重大学	1601	甲南大学	2115	名古屋学院大学	2401	その他	3000
山形大学	1701	神戸学院大学	2116	名古屋経済大学	2402		
山口大学	1702	國學院大學	2117	奈良学園大学*3	2403		
横浜国立大学	1703	*1…大阪市立大学		*2…首都大学東京			
琉球大学	1801	*4…秋田経済法科大学					

【個人情報の取扱い】

1. 受験者の個人情報は、法学検定試験委員会を組織する公益財団法人日弁連法務研究財団および公益社団法人商事法務研究会が個人情報保護法の趣旨に則り、適正に管理・利用します。
2. 受験者の個人情報は、受験者の承諾なく第三者に提供することはありません。
3. 個人が特定できないように統計処理したデータは、各種研究・調査の資料として利用することがあります。

2024年表彰者一覧と表彰式の様子

👑 個人賞 (各コースの最高得点およびそれに準ずる者若干名) [敬称略・ご本人のご希望により一部の情報を省略しています]

ベーシック<基礎>コース (60点満点)		
最優秀賞 H・O (19歳) 青森県 57点	最優秀賞 Y・Y (50代) 57点	
優秀賞 井手 雅紀 (39歳) 香川県 56点	優秀賞 J・K (20歳) 石川県 56点	優秀賞 Y・K (20歳) 新潟県 56点
優秀賞 唐澤 泰世 (18歳) 新潟県 56点	優秀賞 中筋 望 (20歳) 香川県 56点	優秀賞 藤本 怜佳 (20代) 56点
優秀賞 前田 陽香 (10代) 56点	優秀賞 H・Y (20歳) 愛知県 56点	

スタンダード<中級>コース (75点満点)		
最優秀賞 田代 八雲 (21歳) 大阪府 74点		
優秀賞 河奥 聖孝 (21歳) 北海道 72点	優秀賞 石橋 侑大 (19歳) 東京都 71点	優秀賞 上田 怜 (20代) 兵庫県 71点

アドバンスト<上級>コース (55点満点)		
最優秀賞 北村 一夫 (60代) 京都府 50点	最優秀賞 志 良輔 (20歳) 大阪府 50点	
優秀賞 梶山 大輔 (55歳) 千葉県 49点	優秀賞 S・I 48点	優秀賞 山田 泰生 愛知県 48点

👥 団体賞 (各コース20名以上受験の団体)

【合格率の部】

ベーシック<基礎>コース	
第1位 千葉大学	100.0%
第2位 南山大学	91.7%
第3位 新潟大学	91.2%

スタンダード<中級>コース	
第1位 追手門学院大学	91.7%
第2位 南山大学	81.3%
第3位 新潟大学	76.7%

アドバンスト<上級>コース	
第1位 追手門学院大学	41.5%

【合格者数の部】

ベーシック<基礎>コース	
第1位 大阪経済法科大学	156人
第2位 松山大学	130人
第3位 近畿大学	124人

スタンダード<中級>コース	
第1位 札幌学院大学	82人
第2位 追手門学院大学	77人
第3位 熊本大学	52人

アドバンスト<上級>コース	
第1位 追手門学院大学	34人

👥 グループ賞 (各コース10名以上のグループで合格者上位5人の平均点)

ベーシック<基礎>コース	
名城大学	52.6点

スタンダード<中級>コース	
東洋大学	58.0点

※グループ賞はアドバンストコースは該当なし

【2024年度表彰式】



▲法学検定試験委員の先生方



▲高橋宏志委員長と記念撮影する受賞者



対象者には、法学検定試験委員会から賞状・記念品を贈り、個人賞受賞者には、後援団体より副賞が贈呈されます。

合格者の声

合格者の声の一部を紹介します。ほかにも多くの方からお寄せいただいた体験談をウェブサイトに掲載しています。

スキル向上を目指して

私が法学検定試験を受験した理由は2つあります。1つ目は、私の将来の夢が家庭裁判所調査官であるため、将来を見越した法律知識のスキル向上の第一歩にしかたなかったからです。2つ目は、私が通う大学では2年次以降に専門的な学習が始まるため、それまでに予習として基礎知識を定着させたかったからです。受験を決める時点でほとんど法律の知識がなかったので不安もありましたが、以前から法律の勉強に興味があり、挑戦することにしました。

知識がほとんどゼロの状態からの勉強は非常に辛かったです。2時間で3、4問しか進まず予定通りに進まない、時間もなくなり、ますます焦燥感が募っていきました。はじめて知る知識ばかりでしたが、大学の授業で扱う教科書や動画配信サイトに投稿されている解説動画を見て、少しずつ理解していきました。苦勞しながらも着実に1問1問しっかりとクリアしていくうちに、気がつけば1分野、2分野と終了していき、自分に自信を持てるようになりました。どれだけ時間がかかっても、諦めずに続ける大切さを学ぶことができました。

法学の世界は奥が深く、まだまだ学びたいことがたくさんあります。今後は、自分のスキル向上のために、さらなる高みを目指して法学の勉強に励んでいきたいと思います。

(ベーシック〈基礎〉コース・最優秀賞・H・O 19歳・青森県)

法学と精神医学の架け橋として

私は香川県の精神科病院で精神科医師として勤務しています。元々は司法試験を志しておりましたが、医学部再受験に転向した過去があります。精神科医としてまだまだ未熟ながらもある程度の年数を修養してきた身として、法学の勉強への思いが再燃して参りました。法学と医学が交錯する場面は多く、とりわけ精神科分野においては、患者さんとの治療関係も含めて法的な議論が焦点となる側面を多く目の当たりにしており、現在盛んに提唱されるリスクリングの波に自分も乗ろうと決意し、法学検定試験に挑みました。

対策としては公式問題集を解くことが中心にはなりますが、刑法に関しては薄い入門書を、それ以外の科目に関しては行政書士試験対策の市販書を購入のうえ基礎知識の復習に努めました。また、公式問題集を単に解いて終わるだけではなく、解説部分を「条文は緑マーカー、判例は青マーカー、それ以外の重要部分には赤線」と一貫性のある演習を心掛けました。本業である精神科医としての役割は果たしつつも、法学の学習を継続し実力をさらに向上させることで、微力ながら法学と精神医学の架け橋としての存在という独自の役割を担っていきたく存じます。

(ベーシック〈基礎〉コース・優秀賞・井手雅紀 39歳・香川県)

団体受験の取組み

松山大学法学部では、2021年度から教育の内部質保証を強化する目的で、学生の教育成果を図る客観的な外部指標の1つとして、2年次生に法学検定試験の受験を推奨してきました。受験料の一部補助や合格者への単位認定制度を導入し、インセンティブを設けることで、学生の学習意欲を高めています。2024年7月には、同年に受験予定の2年次生を対象とした説明会を開催し、試験内容の解説や前年度合格者による合格体験談の紹介がなされ、受験生たちに貴重なアドバイスと励みを提供しました。こうした取組みは着実に成果を上げており、学生の成長と学部全体の発展に大きく寄与しています。

(ベーシック〈基礎〉コース・団体賞・松山大学)

司法試験合格という夢に向けて

私は司法試験合格を目指している大学生で、今は法科大学院入試に向けて日々勉強しています。法学検定試験を受験しようと思ったきっかけは、司法試験合格に向けた足掛かりになると思ったからです。司法試験予備校を利用して学習を進めているのですが、講義を聞くインプットだけでなく、アウトプットもしないと知識が身につかないと感じたため、良質な問題が多いという法学検定試験問題集を使って、短答式試験の勉強を始めました。そして、学習の成果を確認するために法学検定試験の受験を決めました。

勉強方法としては、とにかく問題集を活用しました。1周目は予備校の講義で学んだ範囲を講義の復習もかねて解きました。その際に意識した点は、正解の肢も不正解の肢も、なぜ正解(不正解)なのかを理解することです。法律の学習ではただ暗記するだけの方法は良くないということを教わったので、理解するために解説を読み、ときには予備校のテキストや判例集、基本書なども参照して勉強しました。そのため、2周目以降はスムーズに問題を解くことができました。また、インターネット上の学習システム「法学検定試験学習ツール」を利用して、通学中等の隙間時間を活用できました。試験当日までに問題集を8周程度繰り返し解くことができ、問題集に載っている問題は完璧な状態で試験に臨むことができました。

他にも、法学検定試験を受験した友人たちと、試験日の2カ月前から週2回程度の勉強会をしていました。わからない問題を教え合ったりすることで、より理解が深まったり、勉強の良いモチベーションになりました。

今回、良い成績が残せたのは、講義をしてくださった先生やともに勉強してくれた友人達のおかげでもあります。司法試験合格という夢に向けて一歩を踏み出すことができた気がします。

(スタンダード〈中級〉コース・優秀賞・石橋侑大 19歳・東京都)

理解することを重視した学習を通して

私は大学法学部の2年生で、公務員試験に向けて日々学習に励んでいます。法学検定試験を知ったきっかけは、大学の資格講座の先生に勧めていただいたことです。同時期に行政書士試験の勉強をしており、学習の成果を形に残したいと考え、行政書士とのダブル合格を目指し、法学検定試験の受験を決意しました。

私の勉強方法は、インプットよりもアウトプットに重点を置くことです。具体的にはインプットとアウトプットの比率を3:7に設定し、学習しました。まず、インプットでは授業をしっかりと聞き、理解することを重視して六法やテキストを通読しました。とくに法律の基本原則、条文の趣旨・目的、判例や学説の考え方を理解し、徹底的に基礎を固めました。次に、アウトプットとして問題集に取り組みました。繰り返し解くことで、解説が頭に浮かびやすくなり、深い理解へと繋がりました。また、資格講座の仲間と知識を共有したり、難しい問題を教え合ったりすることで、理論が整理され、知識が定着しました。さらに、学習しながら気付いたことや考えたことはメモとしてまとめて見返せるようにし、効率的に復習を進めました。

試験2~3ヵ月前には、スタンダードコースの問題集を1周して基礎を固め、その後、アドバンストコースの過去問集に取り組みました。過去問は本試験を想定した形式で解き、過去3年分はいずれも合格ラインギリギリでした。残りの期間では、excellent合格に向け、弱点の補強に努めました。試験2週間前には行政書士試験が終了し、法学検定試験に専念しました。行政書士試験での出題が少ない刑法に重点を置き、それ以外の科目は問題集を繰り返し復習しました。

試験本番では、得意科目である行政救済法から始めました。問題を解くごとに自信が深まり、難問にも前向きに取り組むことができました。今回、高得点をとることができたのは、これらの勉強方法を実践したことに加え、恵まれた環境があったことが大きな要因だと感じています。先生や先輩方から教わり、万全のサポートのなかで同じ目標を持つ同級生と切磋琢磨できたことが、私の学習を支えました。

私は大学卒業後、公務員を志望しています。将来、公務員として活躍するために、今後も法律を学び続けたいと考えています。また、団体での受験を通じて、法律の知識だけでなく、周囲の環境や仲間の大切さも学ぶことができました。今回得た学びを活かし、どのような目標にも挑んでいきたいです。

(アドバンスト〈上級〉コース・最優秀賞/団体賞・追手門学院大学 志良輔 20歳・大阪府)

団体・グループ受験の実施状況（過去3年）

所在地	団体名	所在地	団体名	所在地	団体名	所在地	団体名
北海道	北海道大学	東京	東京経済大学	愛知	愛知大学	鳥取	鳥取大学
北海道	札幌大学	東京	東京法律公務員専門学校	愛知	南山大学	岡山	岡山大学
北海道	札幌学院大学	東京	東洋大学	愛知	名城大学	広島	広島大学
北海道	北海学園大学	東京	明治学院大学	京都	京都産業大学	広島	広島修道大学
青森	弘前大学	東京	陸上自衛隊	京都	京都女子大学	香川	香川大学
青森	青森中央学院大学	東京	立正大学	京都	立命館大学	愛媛	愛媛大学
宮城	東北学院大学	神奈川	神奈川大学	京都	龍谷大学	愛媛	松山大学
茨城	茨城大学	神奈川	関東学院大学	大阪	追手門学院大学	福岡	九州国際大学
栃木	白鷗大学	神奈川	桐蔭横浜大学	大阪	大阪学院大学	福岡	久留米大学
埼玉	平成国際大学	新潟	新潟大学	大阪	大阪経済法科大学	福岡	福岡大学
埼玉	獨協大学	富山	富山大学	大阪	近畿大学	福岡	福岡カレッジ・オブ・ビジネス
千葉	千葉大学	富山	高岡法科大学	大阪	四天王寺大学	佐賀	佐賀大学
東京	国士舘大学	石川	金沢大学	大阪	摂南大学	熊本	熊本大学
東京	専修大学	山梨	山梨学院大学	大阪	桃山学院大学	鹿児島	鹿児島大学
東京	中央学院大学	長野	信州大学	兵庫	甲南大学	鹿児島	志学館大学
東京	帝京大学	静岡	静岡大学	奈良	帝塚山大学	沖縄	沖縄国際大学

※実施状況は毎年異なります

2024年の出題例

【ベーシック〈基礎〉コースよりご紹介】 Let's challenge!!

①

「憲法13条後段の規定するいわゆる幸福追求権、すなわち、『生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利』は、人格的生存に必要不可欠な権利・利益を包摂した包括的権利である」という立場をとった場合、以下のうち、幸福追求権に含まれないものを1つ選べなさい。

1. プライバシーの権利
2. 名誉権
3. 服装の自由
4. 自己の生命・身体についての決定権

（憲法 問題3）

②

未成年者に関する以下の記述のうち、誤っているものを1つ選べなさい。

1. 未成年者として行為能力が制限されるのは、満18歳未満の者である。
2. 未成年者が、親権者からもらった小遣いでノートを買った場合、この売買契約は、未成年であることを理由に取り消すことができない。
3. 未成年者が、詐欺を用いて成年者であると相手方に信じさせて契約を結んだ場合、この契約は、未成年であることを理由に取り消すことができない。
4. 未成年であることを理由に契約が取り消された場合、未成年者は、その契約によって受けとった物を返さなくてよい。

（民法 問題1）

解答：①＝3、②＝4

公式問題集・過去問集

ベーシック〈基礎〉コース

レベル⇒法学部2年次程度

主な受験者：法学部1年次生～2年次生

【学習教材：公式問題集 + 各科目の入門書】

『2025 年法学検定試験問題集 ベーシック〈基礎〉コース』

定価 2,420 円（税込）

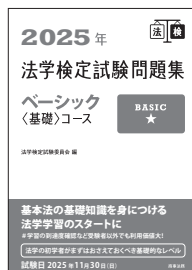
受験科目		試験時間
必須	法学入門 憲法 民法 刑法	120分

【4 科目・合計 60 問】

科目=法学入門 10 問 / 民法 20 問 / その他各 15 問

問題集収録の 4 科目は必須です

合格率は例年、約 60%!!



授業前後の予習復習ツールとして問題集を利用しながら合格をめざそう

6～7割が問題集から出題*

詳細な解説付きで自習も可能！
問題集に取り組むことが合格への近道です！

*問題集の問題がそのまま出題されるとは限りません

スタンダード〈中級〉コース

レベル⇒標準的な法学部3年次程度

主な受験者：法学部2年次生～3年次生

【学習教材：公式問題集 + 各科目の教科書】

『2025 年法学検定試験問題集スタンダード〈中級〉コース』

定価 4,290 円（税込）

受験科目		試験時間
必須	法学一般 憲法 民法 刑法	150分
選択	選択科目Aおよび基本法総合*から1科目	

【5 科目・合計 75 問】

科目=法学一般 10 問 / 民法 20 問 / その他各 15 問

〔選択科目A〕

①民事訴訟法 ②刑事訴訟法 ③商法 ④行政法

必須 4 科目に加え 1 科目選択の 5 科目です

合格率は例年、約 55%!!



・公務員試験などの受験を考える人の土台固めに
・自己の学習到達度を確認する指標として

6～7割が問題集から出題*

全 8 科目の問題が収録されているので
受験対策以外にも授業に有効活用可能！

***基本法総合は、憲法・民法・刑法から出題します**

問題集の憲法・民法・刑法の収録問題から 6～7 割が出題されるほか、
やや難易度の高い問題や他の法分野との境界領域の問題も出題されます

アドバンスト〈上級〉コース

レベル⇒学習の進んでいる法学部3年次～修了程度

主な受験者：法律資格を目指す法学部生

法律実務に従事する公務員や法務スタッフ

【学習教材：公式過去問集 + 各科目の基本書 + 各種判例集】

『2025 年法学検定試験過去問集アドバンスト〈上級〉コース』

定価 3,850 円（税込）

受験科目		試験時間
必須	法学基礎論 憲法 民法 刑法	150分
選択	選択科目AおよびBから2科目*	

【6 科目・合計 55 問】

受験科目=法学基礎論 10 問中 5 問選択 / その他各 10 問

〔選択科目A〕

①民事訴訟法 ②刑事訴訟法 ③商法 ④行政法

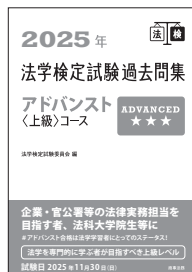
〔選択科目B〕

⑤労働法 ⑥破産法 ⑦経済法 ⑧知的財産法

*選択科目Aから少なくとも 1 科目選んでください

必須 4 科目に加え2科目選択の6科目です

合格率約 20%の難関コース !!



・より上位の法律資格や公務員試験を目指す方のステップとして
・意識の高い学生生活を送るために

過去 3 年分の過去問を収録
過去問で傾向に慣れよう！

**過去問集のため、この中からの出題はありません
問題集ではありませんのでご注意ください**

ハンディ六法のトップセラー！



ポケット六法

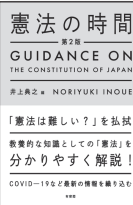
編集代表 荒木尚志
森田宏樹

令和7年版

B6判 2420円
978-4-641-00925-7



「憲法は難しい？」を払拭！



憲法の時間

第2版

井上典之 編

四六判 2090円
978-4-641-22831-3

民法全分野を1冊で学ぶ



民法(全) 第3版補訂版

潮見佳男 著

長野史寛
下村信江
冷水登紀代 補訂

A5判 5060円
978-4-641-23346-1

刑法総論と各論をこの1冊で！



刑法基本講義

総論・各論 第3版補訂版

佐久間 修
橋本正博
上高 一高 著

A5判 4180円
978-4-641-24363-7

条文の読み方 第2版 四六判 990円
法制執務・法令用語研究会 著 978-4-641-12626-8

判例の読み方 シシシー＆ワッシーと学ぶ 青木人志 著
四六判 880円 978-4-641-12595-7



有斐閣

〒101-0051 千代田区神田神保町2-17
〔表示価格は税込〕

<https://www.yuhikaku.co.jp/>

スマホパソコン等でいつでもどこでも学習できる！

法学検定試験学習ツール

<https://sp.lawlibrary.jp/lgs/hrcontents/houken/trial.html>

- ・ 法学検定試験委員会編『法学検定試験問題集』を完全収録！
- ・ 日々のスキマ時間を活用し、効率的に学べます！
- ・ 弱点克服や反復演習、便利機能で得点UPに役立ちます！

まずは
「無料トライアル」
をお試しください！



株式会社TKC東京本社リーガルデータベース営業本部
〒162-0824 東京都新宿区揚場町2-1 軽子坂MNビル2F

Email : hrrsupport@tkc.co.jp